

【主担当部局：地域連携部南部地域活性化局】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

南部地域において働く場の確保が図られ、定住が促進されているとともに、生まれ育った地域に住み続けたいというあらゆる世代の地域住民の思いがかなう地域社会が創られています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
南部地域における若者の定住率		53.0%		52.0%		50.0%
	52.9%					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	南部地域における若者の定着率を測るため、25歳～34歳人口を20年前の5歳～14歳人口で割った値					
3年度目標値の考え方	南部地域における若者の定住率が通減傾向にある中、各年度の減少幅を縮小させ、令和5年度において50%を維持することをめざし、令和3年度の目標を設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県の取組を通じて、暮らしの改善や仕事の創出に結びついた件数（累計）		7件		14件		30件
	—					
県および市町の施策を利用した県外から南部地域への移住者数（累計）		840人		1,010人		1,350人
	628人					

現状と課題

- ①南部地域は、第一次産業の衰退に加え、大規模な工場誘致による雇用の場の確保も難しいことなどから、若者世代の人口の流出と高齢化に歯止めがかからない状況が続いています。定住につながるよう、南部地域活性化基金を活用し、より直接的な働く場の確保に向けた取組や住民の生活に寄り添った取組を支援することにより、持続可能な地域社会の実現を図ることが求められています。
- ②若者の定着には、若者に魅力的な働く場が必要であり、民間企業の進出等による雇用創出を図るため、市町と民間事業者等が連携して、働く場の確保に取り組む必要があります。また、進学等のタイミングで多くの若者が南部地域を離れていることから、一旦は南部地域を離れたとしても将来的に戻ってくるために、地域の魅力や仕事を知る取組が必要です。
- ③新型コロナウイルス感染症により、南部地域においても観光業をはじめ、多くの産業が影響を受けています。感染症対策と社会経済活動の両立に向け、観光誘客を促進するなど南部地域の経済の再生・活性化を図る必要があります。
- ④生まれ育った地域に住み続けたいという思いがあるものの、日々の生活における不便さや地域の課題から、地域を離れる住民がいます。市町やさまざまな主体が行う生活サービスの維持、確保のための取組を支援し、生まれ育った地域に住み続けたいという思いがかなう地域の実現が必要です。
- ⑤南部地域は過疎・高齢化により地域を支える世代の人口流出が進み、地域の活力の維持が課題となっています。地域づくりに関わる関係人口の取組（度会県）を進めるとともに、地域おこし協力隊のネットワーク化を図り、隊員の定住・定着を進めていく必要があります。

令和3年度の取組方向

- ①南部地域各市町の効果的な取組を促進するため、南部地域13市町や有識者、県で構成する南部地域活性化推進協議会において、情報共有や課題の解決に向けた検討を行い、南部地域活性化基金等により市町の取組を支援していきます。
- ②若者の定着を図るため、民間事業者等と連携した開発プロジェクトやこれを契機とした新たなビジネスの展開に必要な調査、試験研究など、雇用の創出、魅力的な働く場の確保に向けた市町の取組を支援します。また、若者が地域の魅力や仕事を知るための市町の取組を支援します。
- ③新たな観光スタイルを取り入れながら、南部地域の集客交流を図り、地域経済の再生・活性化に取り組む市町を支援します。
- ④誰もが安心して暮らしていけるよう、地域が抱える課題に応じた生活サービスについて、市町が行うモデル的な取組を支援します。
- ⑤市町と連携して関係人口の取組（度会県）を進めるとともに、地域おこし協力隊のネットワーク化を一段と進め、相互の人材育成やサポート体制を充実させることにより、任期終了後の定住・定着を促進します。

主な事業

①若者の働く場の確保支援事業

【基本事業名：25101 住み慣れた地域で暮らし続けるための取組】

予算額：(R2) 8,400千円 → (R3) 10,098千円

事業概要：若者の働く場を確保するため、南部地域で行われる開発プロジェクトを契機に、民間事業者と連携して新たなビジネスを創出する取組や、新たな観光スタイルを取り入れた観光誘客など、集客を促進し産業を活性化する市町の取組について、南部地域活性化基金等を活用して支援します。

②暮らしやすい地域づくり支援事業

【基本事業名：25101 住み慣れた地域で暮らし続けるための取組】

予算額：(R2) 2,000千円 → (R3) 1,000千円

事業概要：誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域における生活サービスを維持し、確保していくために市町が民間事業者等と連携して行う取組について、南部地域活性化基金等を活用して支援します。

③（新）豊かな自然の中で安心して楽しめる南部地域魅力発信事業

【基本事業名：25101 住み慣れた地域で暮らし続けるための取組】

予算額：(R2) — 千円 → (R3) 21,121千円

事業概要：南部地域の豊かな自然と歴史文化の魅力を生かし、今後も教育旅行の目的地として選ばれ続けるよう、子どもの目線での魅力を発信するとともに、体験プログラムの開発・改善や受入体制構築等への支援、県内外への教育旅行向けメニューの発信を行います。

④地域づくり人材支援事業 【基本事業名：25102 地域で暮らしたくなる取組】

予算額：(R2) 3,012千円 → (R3) 1,496千円

事業概要：関係人口の力を生かした持続可能な地域づくりにつながるよう、度会県の仕組みを活用して地域の情報を発信することにより、関係人口の裾野の拡大と関係の深化を図ります。また、地域おこし協力隊等を対象に初任者研修や実践的な研修を行うとともに、OB・OGを含む隊員同士が気軽に相談や情報交換できるネットワークが更に活用されるよう取組を進め、隊員の任期終了後の定住・定着を促進します。